

紫波ネット

人と地域をつなぐ広報紙

8

2019・No.1013
| 岩手県紫波町 |



HPはこちら



強い思いを胸に日夜奮闘中
地元で働き地域に貢献したい

今月の表紙

紫波消防署消防士

松田 大輝さん(彦部地区在住)

「高校時代はサッカーチームに所属。体を動かすことが好きなので、この仕事に向いていると思います」と話す松田さん。現在は主に救急の仕事に従事しています。「人の命に関わる仕事で緊張しますが、やりがいも感じます。いつでも学ぶ姿勢を持っている、そんな先輩たちのようになりたいです」と将来の抱負を語ってくれました。

特 集

地域の安全を守る拠点 紫波消防署新庁舎が完成

- 04 キラッとちゃ・ちゃ・ちゃんねる | 05 より良い教育環境を目指して
- 06 環のくに紫波 | 09 買い物送迎サービスをご利用ください
- 14 始めませんか?シルバーリハビリ体操 | 20 行ってみよう

地域の安全を守る拠点 紫波消防署 新庁舎が完成



紫波消防署の新庁舎。町の防災拠点として、安全安心を守ります

災害により強く頼れる消防庁舎

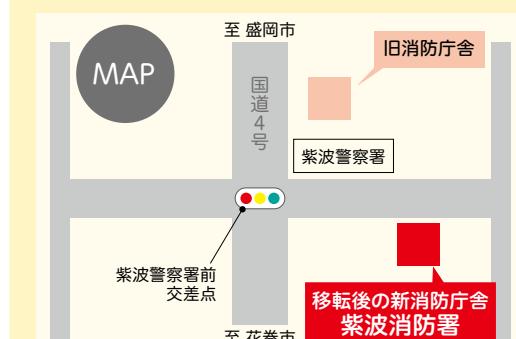
紫波消防署の新庁舎完成を祝う落成式が7月4日、移転新築された同署で行われました。防災関係者や地域住民など約150人が出席しました。

盛岡地区広域消防組合の管理者である谷藤裕明盛岡市長は「訓練施設や防災倉庫を備えた近代的な消防庁舎となりました。消防署員や消防団員、地域の皆さんも訓練や研修ができる施設を備え、消防防災体制の強化が図られます」、熊谷町長は「防災機能の一層の強化が求められていることから、町民の安全安心の拠点になることを期待します」と話しました。

新しい消防庁舎は3618.29m²の敷地に、鉄筋コンクリート2階建ての庁舎棟のほか、訓練棟、鉄骨平屋建ての防災倉庫が並びます。大規模な災害が発生したときにも頼れる機能を多数備えた施設となりました。

【紫波消防署庁舎概要】

- 所在地 〒028-3307 紫波町桜町字大坪40番地1
- 電話 ☎676-7119 (電話番号に変更はありません)
- 敷地面積 3618.29m²
- 延べ床面積 庁舎:1237.88m²、防災倉庫:310.27m²
- 総事業費 7億7348万4000円



新庁舎の特徴をお知らせします



紫波消防署
竹内 英親署長

紫波消防署の老朽化に伴い、昨年7月から建設が進められてきた新庁舎が今年6月末に完成し、7月2日から新庁舎での業務を開始しました。新たな設備を備えた庁舎で、今後防災拠点としての機能がますます期待されます。



① 新設された訓練棟

新庁舎の中で最も特徴的なものが、庁舎南側に新設された「訓練棟」です。建物火災が起きたことを想定して、消防隊員はロープやはしごを使って、救助の訓練を行います。これまで盛岡南消防署矢巾分署や盛岡中央消防署などで行っていた訓練を、紫波消防署内で行うことができるようになりました。

② 防災倉庫

鉄骨平屋建ての防災倉庫を整備。(延べ床面積310.27m²)この倉庫は紫波消防署と町の倉庫を兼ねており、災害時に備えて、土のう袋や避難者用の毛布などを保管しています。



③ 女性職員対応の設備

新庁舎には女性消防職員の勤務を想定し、女性専用の仮眠室も新設されました。

④ 出動準備室と消防車両車庫

火災出動の際、防火服に着替えるための出動準備室を新設。車庫に隣接した場所にあるため、迅速な出動が可能です。車庫には、消防ポンプ車2台と救急車1台など合わせて5台が

停められています。



テープカットには熊谷町長や武田平八町議会議長、阿部秀夫消防団長などが参加



キラッと☆ちや・ちや・ちゃんねる



このコーナーでは毎月、町の子育て支援情報など、「子ども」に関する情報を伝えています。

今月は「幼児教育・保育の無償化」についてお知らせします。

10月から

幼児教育・保育の無償化がスタートします

幼稚園、認定こども園、認可保育所などを利用する子ども

◆ 3～5歳児クラスの全ての世帯の子どもの利用料が無償化

◆ 0～2歳児クラスの子どもは、住民税非課税世帯が無償化

- ・私学助成幼稚園については、月額2万5700円まで無償となります。

- ・幼稚園の教育部分については、満3歳から無償化の対象となります。

- ・無償化に伴い、副食（おかげ・おやつなど）の費用は実費負担となります。

ただし、年収360万円未満相当世帯の子どもと、全ての世帯の第3子（※1）の子どもについては、副食の費用が免除されます。

※1 幼稚園・認定こども園（教育利用）は小学校3年生から、保育所・認定こども園（保育利用）は就学前児童から数えて第3子以降の子ども。



幼稚園・認定こども園（教育利用）の預かり保育を利用する子ども 無償化にあたり、事前の手続きが必要です。

◆ 保育の必要性の認定のある、3～5歳児クラスの子どもの利用料が、月額1万1300円まで無償化

- ・利用日数に応じて1日あたり450円、月額1万1300円を上限に無償化

- ・満3歳（3歳になった日から次の3月31日まで）の住民税非課税世帯は、月額1万6300円まで無償化

認可外保育施設などを利用する子ども 無償化にあたり、事前の手続きが必要です。

◆ 届出済認可外保育施設（ベビーシッターを含む）、一時保育、病児保育、ファミリー・サポート・センター事業（送迎のみは除く）の利用料が対象です。



◆ 保育の必要性の認定のある、3～5歳児クラスの子どもで保育所などを利用していない場合、利用料が月額3万7000円まで無償化

- ・0～2歳児クラスまでの住民税非課税世帯の子どもは、月額4万2000円まで利用料が無償化

就学前障がい児の発達支援

◆ 3～5歳児クラスの子どもの利用料を無償化

- ・幼稚園、認定こども園、認可保育所などと併用する場合も無償化の対象となります。



手続き方法については、利用する施設やこども課子育て支援室へ問い合わせください。

幼児教育の無償化の具体的なイメージ(例)

対象者	対象となる施設・サービス	利用料(保育料)	事前の手続き
 3～5歳児 〔保育の必要性の認定〕 事由に該当する子ども ・共働き家庭 ・ひとり親で働いている家庭他	幼稚園、保育所、認定こども園、地域型保育、企業主導型保育事業（標準的な利用料）	無償 (幼稚園は月額25,700円まで)	不要
	幼稚園・認定こども園（教育利用）の預かり保育	月額11,300円まで 無償	必要
	認可外保育施設、一時保育、病児保育、ファミリー・サポート・センター事業	月額37,000円まで 無償	必要
	幼稚園、保育所、認定こども園	+ 障がい児通園施設	ともに無償 (幼稚園は月額25,700円まで)
 3～5歳児 〔上記以外〕 ・専業主婦（夫）家庭他	幼稚園、認定こども園、障がい児通園施設	無償 (幼稚園は月額25,700円まで)	不要
	幼稚園、認定こども園	+ 障がい児通園施設	ともに無償 (幼稚園は月額25,700円まで)

住民税非課税世帯については、0～2歳児についても無償化の対象となります。

より良い教育環境を目指して 小中一貫校開校準備委員会などを設置しました

今年3月に策定した「紫波町立学校再編基本計画」に基づき、西部地区並びに東部地区の小中一貫校開校準備委員会と中央地区の小中連携推進委員会を開催しました。第1回の委員会では、関係校の保護者代表、地域の住民代表、教職員が出席し、委員長および副委員長が選出されたほか、各専門部会においては部会長および副部会長が選出されました。今後、行政との連携の中で諸課題に対する具体的な方策について検討し、開校などに向けた準備を円滑に推進していきます。



【敬称略】

西部地区小中一貫校開校準備委員会(第1回7月1日開催)			東部地区小中一貫校開校準備委員会(第1回7月10日開催)	中央地区小中連携推進委員会(第1回7月16日開催)
委 員 長	中村 利隆(水分小学校学校評議員)	工藤 瞳夫(赤沢小学校学校評議員)	佐藤 嘉宏(紫波第一中学校校長)	
副 委 員 長	西郷 晃(紫波第三中学校校長)	内田 興子(紫波第二中学校校長)	伊東 雅美(日詰小学校校長)	
専門部会	総務部会 部 会 長	西郷 晃(紫波第三中学校校長)	館脇 敏朗(長岡小学校校長)	
	副部会長	細川 浩(紫波第三中学校PTA会長)	七木田 吉明(長岡小学校PTA会長)	
	通学部会 部 会 長	本館 朗(水分小学校副校長)	森保 茂(彦部小学校校長)	
	副部会長	川村 弘幸(片寄小学校PTA会長)	鎌田 健佑(佐比内小学校PTA副会長)	
	家庭地域連携部会 部 会 長	浅倉 圭(片寄小学校校長)	三好 卓(佐比内小学校校長)	
	副部会長	伊藤 綱俊(上平沢小学校PTA会長)	八重畠 史広(赤沢小学校PTA副会長)	
学校運営部会 (施設設備部会兼務)	部 会 長	和田 敦子(上平沢小学校校長)	久保 紀子(星山小学校校長)	畠山 晃(古館小学校校長)
	副部会長	菊地 雅彦(片寄小学校副校長)	高田 勇幸(赤沢小学校校長)	細川 佳紀(日詰小学校副校長)
教育課程部会	部 会 長	本明 充良(水分小学校校長)	内田 興子(紫波第二中学校校長)	高橋 長兵(赤石小学校校長)
	副部会長	高橋 力哉(上平沢小学校副校長)	小野寺 一洋(彦部小学校副校長)	伊東 雅美(日詰小学校校長)
委 員 数		27人	40人	14人

【各専門部会の検討事項】

- 総務部会…校名、校章、校旗、式典行事など
- 家庭地域連携部会…PTA、伝承芸能、地域学校協働など
- 教育課程部会…教育課程、学校行事、学校保健など

- 通学部会…通学路の安全対策、スクールバスなど
- 学校運営部会…学校教育目標、コミュニティ・スクールなど
- 施設設備部会…施設の整備、備品、学校図書など



各専門部会に分かれ、学校再編に伴う具体的な方策を検討
(西部地区小中一貫校開校準備委員会)



佐美教育長から、委員に委嘱状を交付
(東部地区小中一貫校開校準備委員会)

「2016環境・循環基本計画」の進捗状況をお知らせします

町は、平成13年に「環境・循環基本計画」を策定し、より良い環境を後世に残し伝えるため、町の皆さんとともに取り組んできました。

その後、社会情勢の変化などを踏まえて計画を5年ごとに見直し、現在は平成28年度から令和2年度までを計画期間とする「2016環境循環基本計画」により、「資源循環のまちづくり」「環境創造のまちづくり」「環境学習のまちづくり」「交流と協働のまちづくり」の4つの方針で施策を進めています。この計画について、平成30年度の実績と進捗状況をお知らせします。

目標値と平成30年度の比較

左ページの表は、平成30年度の実績と令和2年度の達成目標数値を比較したものです。参考として平成29年度の実績も掲載しています。

「(1)資源循環のまちづくり」の項目では、町産木材利用量や木質チップ製造量などが増えてきていることから、地産地消や森林資源循環への取り組みが高まっていることが分かります。一方、ごみ分別説明会の開催数や参加者数は大きく伸びているものの、残念ながら、家庭系ごみ1人1日当たりの排出量や家庭系焼却ごみ1人1日当たりの排出量は増えており、リサイクル率

も向上していません。ごみの分別については、まだまだ努力の余地があります。一人ひとりが、しっかりと意識して取り組んでいきましょう。



ごみゼロ運動:5月30日は「ごみゼロの日」



しわエコまつり:昔懐かしエコな手作りおもちゃ「パチンコ」

「(2)環境創造のまちづくり」の項目では、循環型工芸プロジェクト推進事業によるCO₂削減量が着実に伸びています。しかし、達成目標数値には程遠く、地球温暖化防止に向けて、さらなる推進が求められています。

「(3)環境学習のまちづくり」の項目では、環境・循環PRセンター利用者数、グリーン・ツーリズム参加者数、環境・循環情報発信数とともに数値が伸びています。交流と協働によるまちづくりを継続しましょう。



里山づくりプロジェクト:國學院大學の学生が水分地区で「間伐体験」



環境探検隊:東根山麓を流れる沢内川での「生き物探し」

『2016環境・循環基本計画』進捗状況

指標項目	数量・件数など		
	平成29年度実績	平成30年度実績	令和2年度目標数値
(1)資源循環のまちづくり			
① 紫波せみらい堆肥販売量／年	1,021t	1,094t	1,300t
② 食育パートナー登録数／年(※1)	18人	22人	35人
③ 食ナビアクセス数／日(※2)	90件	71件	150件
④ 学校給食地元の野菜使用率	16.2%	16.1%	19.7%
⑤ 学校給食地元の果樹使用率	69.5%	59.7%	45.4%
⑥ 学校給食地元の米使用率	100.0%	100.0%	99.7%
⑦ 森林間伐実施面積／年	66ha	32ha	80ha
⑧ 町産木材利用量・一般(平成12年度からの累計)	1,072m³	1,323m³	1,560m³
⑨ 木質ペレット販売量／年	145t	124t	250t
⑩ 木質チップ製造量／年	1,097t	1,114t	1,000t
⑪ ごみ分別説明会開催数(参加人数)／年	28回(968人)	46回(1,223人)	25回(600人)
⑫ 家庭系ごみ1人1日当たりの排出量	595g	605g	570g
⑬ 家庭系焼却ごみ1人1日当たりの排出量	367g	376g	316g
⑭ ごみのリサイクル率	23.5%	22.6%	27.8%
⑯ 資源回収団体数／年	122団体	119団体	130団体
⑯ 資源物保管庫建設団体数(累計)	80団体	81団体	90団体
⑰ 資源回収団体の資源回収量／年	758t	734t	1,000t
⑱ エコ・ショップしわ参加店舗数(※3)	39店	41店	25店
(2)環境創造のまちづくり			
① 自然観察会の参加者数／年(※4)	248人	333人	210人
② 企業の森づくり取り組み団体数	8団体	8団体	10団体
③ 水洗化人口普及率	86.8%	87.2%	87.2%
④ 循環型エコプロジェクト推進事業によるCO₂削減量／年(※5)	2,553t	2,593t	3,400t
⑤ 紫波型エコハウス建築件数(平成26年度からの累計)(※6)	27棟	44棟	57棟
⑥ 低公害車の導入台数(町公用車)	6台	5台	9台
⑦ 太陽光発電設備の低圧受電契約数	(※7) 一件	(※7) 一件	1,000件
⑧ 町内一斉清掃参加者数／年	12,210人	12,141人	14,400人
⑨ まちピカ応援プログラム参加団体数／年	6団体	6団体	9団体
(3)環境学習のまちづくり			
① 学校教育での環境教育講座開催校数	8校	12校	11校
② 地球温暖化を防ごう隊ノート取り組み学校数／年(※8)	9校	9校	11校
③ 地域での環境学習参加者数／年	2,571人	3,009人	3,000人
④ 保育施設などでの環境学習開催数／年	18回	15回	18回
⑤ 環境関連団体主体の環境学習回数／年	38回	44回	30回
⑥ 食育推進団体数	18団体	22団体	18団体
⑦ 世代間交流(伝統・文化の学習)取り組み小中学校数／年	14校	14校	14校
⑧ 世代間交流(伝統・文化の学習)保育施設などの取り組み回数／年	170回	183回	160回
(4)交流と協働のまちづくり			
① 環境・循環PRセンター利用者／年	5,025人	5,036人	2,400人
② グリーン・ツーリズム参加者数	121人	154人	300人
③ 環境・循環情報発信／年	108件	168件	100件

(※1)食育パートナー…農業体験や地域の食文化、食習慣の伝承などで食育活動の協力または自主的活動に取り組む個人および団体

(※2)食ナビ…町の安全・安心な食の情報を発信するサイト

(※3)エコ・ショップしわ…ごみの減量化、リサイクル活動および環境に配慮した営業活動に積極的に取り組む小売店・飲食店で町が認定

(※4)環境マイスター紫波が主催したイベント参加者数を含めると実績は607人

(※5)循環型エコプロジェクト推進事業…CO₂削減量を「見える化」することにより、エコ活動の活性化と町内経済の循環を目指す事業。CO₂排出削減量に応じ、町が「エコbeeクーポン券」を交付。町内の「エコ・ショップしわ認定店」で商品券として利用できる。

(※6)紫波型エコハウス…エネルギー消費を抑えた一定基準を満たす住宅で、人材および木材などが地産地消により建築された住宅

(※7)電力会社のシステム変更により実態を把握するのが困難となった。

(※8)地球温暖化を防ごう隊…県が主催する事業で小学生が対象。「隊員ノート」を活用し、家庭や地域における省エネルギー活動の知識と理解を深める事業

「しわ工」まつりを開催しました

町内の環境団体4団体(NPO法人紫波みらい研究所・紫波町環境衛生組合連合会・紫波町ごみ減量女性会議・環境マイスター紫波)で構成されるしわ工コ連絡会主催の「しわ工」まつりが7月6日、情報交流館の市民交流ステージで開かれました。

ごみを発生させないことの重要性や再利用方法を楽しみながら学ぶことができるよう、ごみの分別クイズ、工コおもちゃやマイせっけん作り、昔ながらのパチンコ遊びなど、団体ごとに工夫をこらしました。来場した子どもたちは、緊張しながらも楽しそうに取り組んでいました。



正しく
分別できる
かな?

SPOT NEWS



オガール東広場で
剪定作業に励む会員たち

奉仕の心に感謝 シルバー人材センター ボランティア

シルバー人材センター(前田稔理事長)の会員85人は6月14日、オガール地区と城山公園、野村胡堂・あらえびす記念館の3カ所で、草取りや草刈り、剪定作業をボランティアで行いました。会員の皆さんは約3時間にわたり作業に汗を流しました。

交通安全見守り50周年 日詰地区交通安全母の会

日詰地区交通安全母の会(桂川清子会長)は7月20日、日詰小学校体育館で創立50周年記念大会を開催しました。

会員や地区住民など約60人が出席。桂川会長は『交通安全は家庭から』をモットーに、太陽のように明るい笑顔と暖かい心で『気をつけて』と声を掛けられる人を目指し、活動していきます」とあいさつし、これまでの活動を支えてきた元会長をはじめ役員経験者4人に感謝状を贈呈。岩手県警音楽隊による記念演奏会も行われ、演奏を通じて音楽の楽しさや交通安全の大切さを伝えました。



これまでの役員や地域の方々に感謝の気持ちを伝え、安全で安心なまちづくりへの決意を新たにした桂川会長



交通死亡事故ゼロ 1年6ヶ月達成

町は7月2日、1年6ヶ月にわたり交通事故抑制に努めたとして、岩手県警(島村英本部長)から賞賛状が授与されました。

交通安全活動を展開する各団体の皆さんのが同席する中、菅原英二紫波警察署長から熊谷町長に賞賛状が手渡されました。

買い物送迎サービスを ご利用ください



町内4つの社会福祉法人で構成する「紫波町社会福祉法人連携ネットワーク推進協議会」は、9月4日(水)から月1回買い物送迎サービスを開始します。対象は、町内在住で、自由に買い物に行けない高齢者世帯や障がい者世帯の方々です。

利用を希望する人は、事前登録が必要ですので、社会福祉協議会や地区の民生委員まで問い合わせください。

■**対象** 次の①～④を全て満たす人

- ①65歳以上の1人暮らしおよび高齢者のみの夫婦世帯、障がい者世帯
- ②公共交通機関を利用して移動することが難しい
- ③歩いていける範囲に商店などがない
- ④自動車を所有していない

■**運行日時** 毎月第1水曜日 午前10時～11時30分

※買い物時間は45分程度

■**運行区間** 自宅 ⇄ ナックス(送迎時間や乗車場所について、申し込み後に連絡します)

■**利用料金** 無料

■**問合せ** 紫波町社会福祉協議会 ☎672-3258



～公益的な取り組みを共同で実施～ 紫波町社会福祉法人連携ネットワーク事業協定を締結

紫波町社会福祉法人連携ネットワーク推進協議会(近藤英一会長)は6月28日、役場会議室で「『地域における公益的な取組』の共同実施に関する協定」を締結しました。

同協議会は、社会福祉法人紫波町社会福祉協議会(近藤英一会長)、社会福祉法人紫波会(高橋國男理事長)、社会福祉法人志和大樹会(細川博明理事長)、社会福祉法人爽生会(谷村邦久理事長)により構成。今後、上記買い物送迎サービスや、各法人での就労準備支援ボランティア事業などを共同で行なっていきます。

近藤会長は「少子高齢化が進む現代、住民一人一人が安心して生き生きと暮らせる社会を構築するため、各法人の特質を持ち寄り、連携することで幅広いニーズに対応したいです」とあいさつ。立会人として同席した熊谷町長は「町民のニーズに対応する公益的な事業の提供は、地域福祉の向上につながるもので大変うれしく思います。今後も法人と町が協力し合い、年を重ねても地域で安心して暮らせる地域社会の構築を目指していきたいです」と話しました。

協定書を手にする町内4社会福祉法人の代表者たち





相談

自衛隊なんでも相談会

自衛隊に興味のある人や自衛隊に関する情報を聞いてみたい人、公務員を希望している人、再就職を希望している人は気軽にご相談ください。

申込不要

■日時

- ・8月24日(土) 午後1時30分～午後5時
- ・8月25日(日) 午前10時～午後5時

■会場

情報交流館2階 小スタジオ
 自衛隊岩手地方協力本部 盛岡募集案内所 ☎641-5191

認知症なんでも相談

町内のグループホーム(認知症対応型共同生活介護事業所)の職員と町の認知症地域支援推進員が相談に応じます。

相談無料 **申込不要**

■日時 9月11日(水) 午後2時～4時

■会場

情報交流館 1階 市民交流ステージ

■問合せ 長寿介護課 高齢者支援室 ☎672-2111 内線1231



募集

ふれあいフェスタ2019 ステージ発表者の募集

毎年、障がい者に関する正しい知識の普及と啓発、ふれあいなどを目的に「ふれあいフェスタ」を開催しています。

す。今年は歌やダンスなど15分程度の発表を行う団体または個人を若干募集します。日頃の練習の成果を発表してみませんか。

■日時 10月5日(土)午前中

■会場

情報交流館 1階 市民交流ステージ

■申込・問合せ

8月26日(月) 午後5時まで

団体名、担当者名、住所、電話番号、発表内容、団体紹介(400文字以内)を記載の上、下記へご応募ください。
 *応募者多数の場合は抽選の上、応募者全員に連絡します。

ふれあいフェスタ2019事務局(紫波町社会福祉協議会)
 ☎028-3304

紫波町二日町字古館356-1

☎672-3258 FAX 672-5039



お知らせ

児童扶養手当・ 特別児童扶養手当の 現況届の受付開始

受給資格がある人は、毎年手続きが必要です。手続きをしないと、8月以降の手当が受けられませんのでご注意ください。

対象者には通知書を送付していますので、必要書類をそろえて期限までに手続きをしてください。

■児童扶養手当 提出期限 8月30日

(金) ※0歳から18歳到達後の最初に訪れる3月31日までの間にある児童(障がいがある場合は20歳未満)

を養育している母子・父子家庭などに支給される手当。

■特別児童扶養手当 提出期限 9月11日(水) ※20歳未満の心身障がい児を養育する父母または養育者に対して支給される手当。

■問合せ こども課 子育て支援室
 ☎672-2111 内線3181-3130

Jアラート全国一斉 情報伝達訓練

地震・津波や武力攻撃などの発生時に備え、全国瞬時警報システム(Jアラート)を用いた情報伝達訓練を行います。町内では、各小・中学校と各公民館の受信機が作動し、「これはJアラートのテストです」という放送が流れます。この訓練は、他市町村でも行われます。

■日時 8月28日(水)午前11時ごろ

■問合せ 消防防災課 消防防災室
 ☎672-2111 内線2362

9月1日(日) 総合防災訓練の緊急速報メールを配信します

上平沢地区総合防災訓練が開催される9月1日(日)午前7時30分頃、町内全域に総合防災訓練の緊急速報メールを配信します。緊急速報メールは、マナーモードでも着信音が鳴る場合がありますのでご注意ください。

■問合せ

消防防災課 消防防災室
 ☎672-2111 内線2360

8/24㈯ワイナリー前にて飲み放題開催
 10:00 料金: 3500円(ワイン+おつまみ1品)
 15:00

限定30名
 [要予約]

自園自釀ワイン 紫波
 岩手県紫波町産葡萄100%のこだわりワイン
 お買い求めは県内酒販店・スーパー・百貨店にて

(株)紫波フルーツパーク 紫波町遠山字松原1-11 道の駅紫波200メートル奥
☎019-676-5301 <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/> 紫波ワイン 検索

休館日
 8月
 12日・13日・14日
 15日・19日・26日
 9月
 2日・3日・8日・9日
 15日・16日・23日
 30日

相心館 ゆう 美容室
 スタッフ募集中

ホームページでお得情報をご覧ください。
 携帯・スマホからアクセス!

☎028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷6-31
TEL019-676-5825
http://www.7b.biglobe.ne.jp/~aisinkan_yu/
 E-mail yu@posh.jp

QRコード

古館駅
 イオン
 スーパー
 古館店
 中島歯科
 ローソン
 たもり
 加賀医院
 至花巻
 4号線
 ピッヂボリ

暮らしの情報



催し

愛犬との暮らしお講座

犬の気持ちやしつけ、マナーについて学ぶ講座を開催します。犬が発するサインを知ることで愛犬との絆も深まります。愛犬について相談したい人はご参加ください。

【参加無料】

■日程 8月23日、9月13日、10月11日

(いずれも金曜日)

午後5時30分～7時

■会場 情報交流会館 2階 小スタジオ

■講師 ヨシダドックススクール

■申込・問合せ 環境課 環境室

☎672-2111 内線2252

紫波そばの里まつり

県内でも有数のソバ生産地である紫波町のおいしいそばを食べながら、そばっと一緒にソバの花見をしませんか。そばの早食い大会なども開催します。

■日時 8月31日(土)

午前10時～午後2時30分

■会場

オガール東広場(駐車場は、JAいわて中央本所または紫波中央駅前駐車場をご利用ください)

■問合せ

JAいわて中央 紫波地域営農センター ☎672-1582

敬老会が開催されます

対象者には各地区社会福祉協議会からご案内します。なお、本年度までは各地区社会福祉協議会に運営を委託して実施しますが、令和2年度以降は町が主体となり、開催する年度に75歳に到達する人のみを対象として開催する予定です。本年度敬老会の対象となる人は、ぜひご参加ください。

■対象 75歳以上の人（令和2年4月1日時点）

■日時・会場

地区	日 時	会 場
日 話 (日詰2～6区, 12～21区)	9月14日(土) 午前10時30分～	ナックスホール
日 話 (日詰1, 7～11区)	9月15日(日) 午前10時30分～	
古 館(上町、桜田地区)	9月14日(土) 午前11時～	古館ふれあいホール
古 館(中陣、前郷地区)	9月15日(日) 午前11時～	
古 館(下町、十日市地区)	9月16日(月・祝) 午前11時～	
水 分	9月 7日(土) 午前11時～	ホテル湯楽々交流プラザ
志 和	9月 7日(土) 午前10時30分～	JAIいわて中央志和支所生活会館
赤 石 (平沢、桜町、犬渕地区)	9月21日(土) 午前10時～	ナックスホール
赤 石 (北日詰、南日詰地区)	9月22日(日) 午前10時～	
彦 部	9月 1日(日) 午前10時～	ナックスホール
佐比内	9月 1日(日) 午前10時～	佐比内公民館
赤 沢	8月31日(土) 午前10時～	赤沢小学校体育館
長 岡	9月 1日(日) 午前10時30分～	長岡小学校体育館

■問合せ 長寿介護課 高齢者支援室 ☎672-2111 内線1232

図書読み聞かせボランティア研修会 「よみきかせのきほんのき」

「おもしろい絵本のはずなのに反応がいまいち」「絵本のセリフに合わせて声音は変えるべき?」など、読み聞かせ活動での悩み事や困り事はありませんか。読み聞かせの基本を丁寧におさらいしましょう。初めての人

も気軽にご参加ください。【参加無料】

■日時 8月31日(土) 午後1時～3時

■会場 情報交流館 2階 大スタジオ

■講師 うれし野こども図書室

高橋 美知子さん

■定員 30人

■申込・問合せ 紫波町図書館

☎671-3746

紫波町民 平日限定入浴割引券

大人700円→400円 子ども350円→200円

※温泉館受付でこの紙面をご提示ください。※1枚で1グループ、期間中何回でもご利用いただけます。※上記金額はお一人様の入浴料金となります。※土・日・祝祭日は利用不可です。※8月10日(土)～18日(日)までは利用できません。

《割引券有効期間》令和元年9月30日(月)まで

無料シャトルバス毎日運行(要予約)
お問い合わせ 紫波町小屋敷新在家90番地
☎019-673-8555 検索 <http://www.lafrance.co.jp/>

La France ラ・フランス温泉館

まるもり整骨院

紫波郡紫波町日詰字丸盛222-1 プラス第一ビル1F

☎019-671-1162 (予約優先)

平日
夜10時
まで

○受付時間

平日 9:00～13:00

15:00～22:00

土曜 9:00～13:00

★土曜午後は予約のみ

○休診日 日曜・祝日

○駐車場 8台(テナント共有)





岩手県知事選挙・岩手県議会議員選挙のお知らせ

任期満了に伴う岩手県知事選挙および岩手県議会議員選挙が行われます。

■日時 9月8日(日) 午前7時～午後8時

■投票所

投票区	投票所
第1投票区(日詰地区)	中央公民館
第2投票区(古館地区)	古館公民館 ふれあいホール
第3投票区(水分地区)	水分公民館
第4投票区(上平沢地区)	上平沢小学校
第5投票区(片寄地区)	片寄小学校
第6投票区(赤石地区)	赤石公民館
第7投票区(彦部地区)	彦部小学校
第8投票区(星山地区)	星山小学校
第9投票区(佐比内地区)	佐比内公民館
第10投票区(赤沢地区)	赤沢公民館
第11投票区(長岡地区)	長岡公民館

※投票所入場券(はがき)は8月31日(土)以降に送付する予定です。詳しくは本号と併せて世帯配布および町のホームページに掲載している「選挙のお知らせ」をご覧ください。



【期日前投票】

投票日当日に、仕事や旅行などの用事で投票に行くことができない人は、期日前投票をご利用ください。

■日程

①岩手県知事選挙 8月23日(金)～9月7日(土)

午前8時30分～午後8時

②岩手県議会議員選挙 8月31日(土)～9月7日(土)

午前8時30分～午後8時

※両方の選挙の期日前投票ができる期間は、8月31日(土)から9月7日(土)までとなりますので、ご注意ください。

■投票所 紫波町役場3階 304・305会議室

■問合せ 選挙管理委員会 ☎672-2111 内線2341

車椅子利用者を投票所に無料送迎

紫波町社会福祉協議会は、町内在住で車椅子を利用しなければ移動できない人を対象に、自宅から投票所までの間を無料で送迎します。期日前投票にも対応しますので、希望する投票日の前日までに申し込みください。

※車椅子専用車両は、台数に限りがありますので、希望日時に応じられない場合があります。あらかじめご了承ください。

■申込・問合せ 紫波町社会福祉協議会 ☎672-3258

土砂災害に注意しましょう

これから大雨の季節を迎えますが、土砂災害から身を守るため、あらかじめ自宅周辺における土砂災害の危険性や避難経路、避難情報の入手方法などを確認し、いざというときに備えましょう。

また、避難時は周りの人に声を掛け合って避難しましょう。

2019年「土砂災害・全国防災訓練～普段の備えが、命を守る～」の実施

【2019年キャッチフレーズ】

「避難の声かけ、
安全の確認」



こずかた診療所 内科

- 診療時間 平日 9:00～12:00/13:30～17:30
- 受付時間 平日 8:30～11:30/13:15～17:00
- 休診 土曜・日曜・祝日

介護老人保健施設 博愛荘

- 施設概要 在宅復帰に向けた支援を目的に、医学的管理のもとに看護・介護及びリハビリテーション、その他日常生活のお世話をさせていただきます。
- 利用対象者 65歳以上で介護保険の要介護1～5の認定を受けられた方。
※45歳以上の方は特定疾患の診断を受けなおかつ要介護1～5の方

矢巾町大字又兵工新田5-335 医療福祉多機能ビルケアセンター南昌(矢幅駅西口)
 ☎019-698-2015(代) ☎019-698-3033(受付)

メガネの正しい取り扱い方

スマホでQRコードを開くと「眼鏡の取扱方法」を音声で聞くことが出来ます。ご来店を頂くと、「音声の眼鏡取扱説明書」を無料で差し上げます。

◀音声QRコード 当店には認定眼鏡士が在籍しております。

オガール店
(紫波中央眼科となり)
019-672-5572

日詰店
(日詰商店街バス停前)
019-676-2838

<http://www.meakashi.com>

眼科処方箋
承ります。

眼鏡屋 目明かし堂



紫波ネット広告を募集しています

■掲載料 1枠1万800円(税込み)
 ☎672-2111 内線2314 shiwa.info@gmail.com

暮らしの情報

8月30日(金)～9月5日(木) は建築物防災週間

建築物防災週間は、災害による人命や建築物の被害を防止し、安心して生活ができる空間を確保するため、建築物に関する防災知識の普及を図り、建築物の防災対策を推進することを目的に行われています。

県は、防災上の配慮が強く求められる建築物を中心に、町・消防と共同で防災査察を実施し、必要に応じた指導を行います。

なお、期間中は下記問合せ先に防災相談所を設置し、地震や火災、がけなどの建築物の防災に関する相談にお答えしますので、ご利用ください。

■問合せ

岩手県 県土整備部 建築住宅課
☎629-5936 FAX 651-4160
盛岡広域振興局 土木部
☎629-6650 FAX 652-6924



クマ出没注意!!

農作業時は、ラジオなどを周囲に聞こえる音量で流しましょう。

■問合せ

環境課 環境室 ☎672-2111 内線2252



紫波町役場庁舎の敷地内は全面禁煙です。

ご理解とご協力をお願いします。

■問合せ 財政課 財産管理室 ☎672-2111 内線2333

学期の終業式が行われた7月25日、赤石小学校4年生の男子児童が下校途中、横断歩道を渡っている最中に車にはねられる事故が発生した。明日から楽しい夏休みだということで、心なしか足取りも軽やかだったと思うが、一瞬にして暗転してしまった。続いて5分後には、同じ場所で同校3年生の女子児童が車にはねられる事故が発生した。同じ場所で立て続けに事故が発生するのはあまりないケースであり、横断歩道を渡っている人を負傷させるのは重い交通違反である。

どちらも町外の人が運転していた車であるが、事故は一瞬で起きる。横断歩道と思つてドライバーを信じて渡つた児童には心よりお見舞いを申し上げる。町内ではここ2年ほどで250戸ほど住宅が建てられ、特に赤

石・日詰地区には新しい街が形成されている。それらにつながる場所は交通事情も変化している。人通りが少ない記憶している場所は、自然とスピードが出るものである。

通学上の危険箇所は歩道、信号など順次整備を進めているが、一気に進まないのも現実である。事故を起こさないためには、ドライバーの法令順守はもちろん、児童生徒に限らず大人も横断歩道を渡るときは左右を確認する癖をつけなければならぬ。県内のドライバーは他県に比べて横断歩道の歩行者に対する配慮が足りないといわれている。また、昨年に比べて紫波署管内的人身交通事故、飲酒運転、免許運転の件数も増加している。町民の皆さんには、改めて道路交通法の順守をお願いしたい。

町長メッセージ

熊谷 泉



シルバーリハビリ体操

始めませんか？

シルバーリハビリ体操とは？

リハビリテーションの専門医が考案した、道具も使わず「いつでも」「どこでも」「ひとりでも」できる、健康づくりと介護予防を行うための体操です。「体が思うように動かないから無理」と思う人もいると思います。元々、この体操は脳卒中による片麻痺の人のために作られたもので、寝ても、座ってもできる体操があるため、健康な人はもちろん、高齢者、体力に自信のない人、障がいを持つ人など、どのような人でも取り組むことができます。

紫波町いきいき健康推進隊がシルバーリハビリ体操の普及を行っています

資格を取得した指導者が地域に出向いて活動しています。

【通いの場】指導者が中心となって地域の皆さんが定期的に集まり、体操を楽しんでいます。



日詰公民館



平沢中通り公民館

【いこいの家】地域から依頼があつた場合、出向いて体操を行います。



野沢公民館いこいの家

地域の健康を支える仲間になりませんか

「シルバーリハビリ体操3級指導者養成講習会」の受講者募集

シルバーリハビリ体操を地域の住民へ指導・普及するボランティアとして指導者を養成します。

■日時 9月17日(火)・20日(金)、10月4日(金)・8日(火)・11日(金)・15日(火)
全6日間 午前10時～午後4時(初日のみ午前9時30分開講)

■会場 JAいわて中央 パーフルパレス

■内容

講義：介護予防とリハビリテーションの推進、骨と筋肉、神経など

実技：シルバーリハビリ体操 ※講習会の全過程を終了後、県から認定証を交付

■対象・定員

おおむね60歳以上の町民で、受講後にボランティア活動ができる人 約30人

■受講料 無料(ただし交通費、昼食代は自己負担)

■持ち物 動きやすい服装、筆記用具、上履き、昼食、飲み物

■申込・問合せ 長寿介護課 高齢者支援室 ☎672-2111 内線1232



あづまね大学の皆さんと一緒に



地域おこし協力隊だより

地域おこし協力隊
佐々木 由美子さん



しわわ
shi・wa・wa

■担当 企画課 地域おこし協力隊 ☎672-2111 内線5126

岩手にシターンすることを決めたとき、自分の身近な人や物のために「デザイン」をするというのが私の目標の一つでした。着任してから1年が経ちおかげさまで自分のふるさとで「デザイン」の相談や仕事をいただき、目標の一つを実現することができています。

4月には町の特産であるお米を作っている(株)甚乃米様のリーフレット「デザインをお手伝いしました。昨年の秋に、「相談いただき、「日本中でお米が作られている中で、甚乃米様の本来の魅力や価値はどんなところなのか?」お米づくりへの思いや、生産から販売の流れなどについて現場取材とヒアリングを重ねました。結果、循環型農業、自社一貫生産で安全安心な食を届けるお米づくりへの思いをブランドメッセージに、そして牛、土、米をモチーフにロゴとしてご提案しました。このリーフレットを通じて、紫波のお米のおいしさやお米づくりに一生懸命な姿勢が一人でも多くの人に届くことを願っています。

7月には水分公民館のあづまね大学にお招きいただき、「デザインで価値を伝える岩手とデザインの相性が良い理由」というお話をしました。「デザインで何をする人? どんな風に仕事を進めるの? といったことにも触れ、みんなでキャン贝尔のジユースを飲みながら和気あいあいとした会になりました。これまで「デザイン」という言葉に馴染みはなかったかもしれません、「高級感を感じる紙はどうち?」というお話をしたときの皆さんのハッとした笑顔は忘れられません。デザインの意義や重要性についてはこれからもお話しする機会をつくっていけたらと思います。新たな目標がまた一つ増えた貴重な経験、ありがとうございました。



甚乃米様の
リーフレット

地域おこし協力隊 を紹介します



北條 苑美さん
【プロフィール】紫波町北日詰生まれ。秋田県の国際教養大学を卒業後、神奈川県川崎市の物流会社へ入社し、国際物流に関する業務に従事。趣味は海外旅行でしたが、今後は国内で温泉や食、宿を楽しむことを目的とした旅をしたいと思っています。

協力隊として働くことを決めたきっかけは、紫波町の知名度を上げたい、と思っていたことです。
私は高校卒業後に紫波町を離れ、大学進学・留学・就職・転勤のため、秋田県秋田市とイギリス・エセッククス州→神奈川県川崎市→神奈川県横浜市→千葉県船橋市と住む場所を移してきました。新しい人と出会う度に交わされる、出身地を問う質問。岩手にいた頃は「紫波町」が通じていたのが、県外に出てしまって、「しわちよう」の知名度の低さに残念な気持ちを抱いていました(岩手県の位置すら怪しい人も)。

紫波町はフルーツの里で、ワインも日本酒もあり、県外からのアクセスも良く、オガールはなんかオシャレ。自慢できるポイントがたくさんあるのに、知られていない

ことは、私にとっては16年ぶりの紫波町暮らし、まだまだ町内の情報について知らないことがあります。今は私自身が、町内にどのような人がいるか、どこでどのような活動が起こっているなどを知ることから始めています。皆さまのところへも、お話を伺いにお邪魔するかもしれません。どうぞよろしくお願いします。

前職に名残惜しさもありましたが、紫波町の宣伝を仕事にできるチャンスに挑戦してみたいと思い、シターンを決め、協力隊の一員となりました。

地域おこし協力隊では、ローカルメディアデザイナー(地域情報編集発信)を担当します。「情報で人をつなぐ」役割です。町内の面白い人・活動・場所などの情報を全国、もしくは世界へ向けて発信することにより、それに賛同・共感し、町内での起業を考える人や、シターン者・一ターン者のきっかけになつたり、観光客が増えたりすることを目指して活動予定です。

町は7月1日、地域おこし協力隊として北條苑美さんに辞令を交付しました。地域おこし協力隊は、都市部に在住し、地方への移住や地域社会への貢献に关心を持つ人が、過疎地域などの条件不利地域に住民票を移し、地域に暮らしながら地域活性化や都市住民の移住・交流などの地域協力活動を行います。

健やかランド紫波



体の健康

体の健康は歯とお口から

～歯、歯、歯と笑顔で健康づくり～

歯科保健の分野では、生涯にわたり自分の歯を20本以上保つことで健全な噛む力を維持し、健やかで楽しい生活を過ごす「そういう」運動が推進されています。

8020(ハチマル・ニイマル) 運動

野では、「自分の口で食事を楽しむ人が増加すること」を領域目標にしています。

町は、町民一人ひとりが健康な人生を送るために「元気はつらつ紫波計画」を策定しています。この計画では、食生活や運動、たばこ、生活習慣病など、7つの領域に分けて健康づくりを推進しています。

町は、町民一人ひとりが健康な状態で長生きし、元気はつらつ



成人歯科健康診査が 無料で受けられます



自覚症状がなくても定期的に歯科医院を受診し、口の健康状態や歯磨きの方法をチェックしてもらうことはとても大切です。

町は、期間限定で無料の健康診査事業を実施しています。全身の健康のため、この機会に健康診査を受けましょう。

■対象 昭和24年4月1日～昭和55年3

月31日に生まれた人

※受診日現在、町内に住所がある人に限る

■期間 令和2年2月29日(土)まで

■場所 町内の全ての歯科医院 ※要予約

■持ち物 受診券(各歯科医院と健康福祉課に設置)、健康保険者証

成人期の歯周病

国の歯科疾患実態調査によると、35～44歳の8割以上の人に歯周病または歯肉炎の症状が認められています。これ以後、加齢に伴い歯周病が増悪し、同時に喪

失を失う原因のほとんどが「歯周病」と「むし歯」です。歯を失うことは食生活や社会生活に支障をきたし、全身の健康にも影響を与えることがあります。

歯を失わないために

食事や会話を楽しみ、豊かな人生を送るために、歯や口の中の健康を保つことが重要です。そのためには、正しいセルフケア、定期的な歯石除去、歯面清掃、健康診査、早期治療が重要です。

失歯数も増加しています。

歯周病の原因としては、喫煙や過度の飲酒、食習慣、定期的な歯科健診を受けていないこと、適切な方法や回数での歯磨きがされていないことなどがあげられています。

■問合せ 健康福祉課 健康推進室 ☎672-2111 内線1346

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性 風しん抗体検査・予防接種が無料です

本年度は、昭和47年4月2日～昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に、風しん抗体検査・定期予防接種の無料クーポン券を送付しています。対象者へ送付している無料クーポン券を使い、抗体検査を受けることができます。抗体が基準値に満たない場合は、予防接種の対象となります。事前予約が必要な医療機関があるため、受診前に電話で確認が必要です。なお、実施機関は厚生労働省ホームページをご確認ください。

※昭和37年4月2日～昭和47年4月1日の間に生まれた男性で本年度クーポン券を希望する人は、問い合わせください。

■クーポン券の利用期限 令和2年3月31日(火)まで

■問合せ 健康福祉課 健康推進室 ☎672-2111 内線1343





福祉

「紫波町障がい者自立支援協議会」が発足しました

今年4月、「紫波町障がい者自立支援協議会」が発足しました。同協議会は、障がい児・者の地域における自立した生活を支援するため、地域の障がい関係団体で構成されています。地域ネットワークを構築しながら、地域課題や個別施策について、定期的に集まり地域の課題解決に向けて協議・検討を行っていきます。

協議会は「全体会」と「専門部会」により構成され、メンバーは社会福祉協議会や当事者団体のほか、町内の福祉事業所や行政機関、民生児童委員、医療機関など、障がい福祉に関わる町内関係機関38団体が参加しています。

協議会発足後初めてとなる全体会が5月17日、紫波町役場で開催されました。当日は委員20人が出席し、町長から委嘱状交付後、本年度の運営方針の確認や各々の団体の取り組み状況や現状について意見交換を行いました。

障がい児・者がより暮らしやすい地域づくりを目指して、自立支援協議会では今後本格的な活動を行っていく予定です。活動の様子については、広報『紫波ネット』で随時紹介していきます。



各団体の代表者で構成される全体会の様子



ユーモアを交えながら講演する
綿祐二先生

障がいへの理解を深める研修会が開催されました

6月29日、「令和元年度理解促進研修会」が情報交流館大スタジオで開催されました。

この研修会は地域住民の障がい理解を深めることを目的に昨年度から年2回開催しているもの。当日は日本福祉大学教授の綿祐二先生から「重症心身障がい児者の地域における生活設計」をテーマに講演いただき、100人を超える参加がありました。

先生からは、両親兄弟全員が障がいを抱える中で育ってきたご自身の経験に基づき、「障がい」に対する考え方のほか、共生社会実現のための先進的な地域事例の紹介、重症心身障がい児者が地域で暮らしていくためのシミュレーションなど、ユーモアを交えながら2時間にわたりお話をいただきました。

第2回の研修会は本年度後半に開催予定です。日程などは詳細が決まり次第お知らせしますので、障がいへの理解を深めたい人や関心がある人はご参加ください。

ヘルシーシー・レシピ



夏野菜には
夏バテや生活習慣病を予防
する効果があります。野菜が
たっぷり取れる春巻きが
おすすめです。

材料 [4人分]

ライスペーパー	8枚	大葉	16枚
オクラ	16本	卵	2個
エビ	16本	※お好みでチリソースや中華たれなど	
カニ風味かまぼこ	16本		

【夏野菜の栄養まるごと生春巻き】

作り方

- ①オクラ、エビを塩ゆでする。
- ②卵は卵焼きにして3cm幅に切る。
- ③ライスペーパーを水にくぐらせて戻し、①、②、大葉、カニ風味かまぼこを並べ、手前からきっちり巻く。

ミニ栄養メモ

- ☆オクラのネバネバ成分は、水溶性食物繊維です。整腸作用があるので便秘の改善と予防に効果があります。
- ☆大葉の香りには、胃酸の分泌を促す働きがあり、食欲増進効果もあります。
- ☆エビのタウリンという成分は、コレステロールを下げる働きがあり、動脈硬化を予防するといわれています。



【レシピ提供】

紫波町食生活改善
推進員協議会 赤石
地区会員の皆さん

まちの話題

野村胡堂とかけがえのない友人たちの絆を知る企画展

野村胡堂・あらえびす記念館（杉本勉館長）は、10月20日（日）まで企画展「胡堂と盛岡中学時代の友人たち」を開催中です。胡堂が盛岡中学在学中に出会ってから、晩年まで付き合い続けた友人たちとの交流を紹介しています。会場には、学生時代にやり取りした手紙をはじめ、言語学者の金田一京助や衆議院議長などを務めた田子一民たちが、白内障の手術を受け療養中の胡堂へ送った寄せ書きなど、書簡を中心に23点を展示。胡堂は手紙を丁寧に保管しており、来館者からは「当時の手紙を見ることができて感激した」と好評を博しています。8月25日、9月29日（いずれも日曜日）の午後1時30分からは、学芸員による展示解説も行われます。



見学に訪れた紫波三中の生徒たちに、解説を行う杉本館長



犯罪や非行のない明るいまちを目指して

7月中、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生に理解を求める目的で、第69回社会を明るくする運動が町内で展開されました。7月9日には情報交流館でふれあいフェスティバルを開催。紫波総合高校郷土芸能部による船久保さんさ踊りや紫波一中合唱部の奏でる美しいハーモニー、紫波総合高校吹奏楽部の力強く明るい演奏に、会場に集まった約70人が大きな拍手を送りました。

紫波総合高校生徒による船久保さんさの華やかな舞

紫波町初上陸！海上自衛隊大湊音楽隊が迫力ある演奏を披露

町自衛隊協力会創立40周年を記念し、町と町自衛隊協力会は7月6日、海上自衛隊大湊音楽隊演奏会を開催しました。

大湊音楽隊は、昭和31年に10人の隊員で発足し、昭和51年に大湊地方総監の直轄部隊として新編され、青森県むつ市を拠点に、北海道全域と青森、秋田、岩手の北東北3県を中心に幅広い演奏活動を行っています。

会場のサン・ビレッジ紫波には約550人が来場。コンサートは2部構成で行われ、「野球応援メドレー」や「ミッキーマウス・マーチ」など馴染みのあるジャンルの音楽を演奏し、観衆を魅了しました。演奏会の終了後には、音楽隊の皆さんのが紫波一中吹奏楽部の部員に演奏法を指導。部員たちはプロからの教えに、刺激を受けている様子でした。

なお、10月には町自衛隊協力会創立40周年記念式典を予定しています。



来場者は手拍子を送りながら演奏を楽しみました



スポーツを通じて親睦深める

交流続け30回 節目の定期戦大会

総合体育館で7月14日、空手道和道会の第30回定期戦大会(根水康博会長)が開催されました。紫波町、盛岡市、宮古市、遠野市、一関市、住田町、大槌町、山田町、埼玉県上尾市の9市町の小・中学生約130人が参加。今年で30回の節目を迎える、町空手道協会理事長の高橋吉見さんは「定期戦大会が30回続くのは素晴らしいこと。子どもも同士も切磋琢磨し合い、交流を深めています」と話しました。また、紫波支部は小学生の部と総合の部の両部で優勝を果たしました。



真剣な眼差しで形を披露する子どもたち

盛岡広域の 身体障がい者スポーツ交流会



一致団結し、準優勝に輝いた紫波町チーム

「第48回岩手紫波地区身体障害者スポーツ交流会」(岩手紫波地区身体障害者福祉協会連合会主催)が7月5日、総合体育館で開催されました。この大会は障がい者が親睦を図ることを目的に開催され、紫波町、滝沢市、岩手町、東石町、矢巾町、八幡平市、葛巻町の7市町から約120人が参加。輪投げやフライングディスクなど5種目を競技し、爽やかな汗を流しました。今年は紫波町チームが準優勝に輝きました。

彦部・佐比内地区で光ブロードバンドサービスの提供を開始

NTT東日本は、光回線が未整備だった彦部地区の一部と佐比内地区で、10月1日(火)から光ブロードバンドサービスの提供を開始します。申込方法などの詳細は、通信事業者に問い合わせください。

■申込先

NTT東日本 ☎0120-116-000
光コラボレーション事業者
HP <https://flets.com/collabo/list/>



■問合せ

企画課 総合政策室 ☎672-2111 内線2311



7月24、26の両日開催された説明会には約80人が参加

作画:かねた丸

行ってみよう

紫波の自然と環境編③
「紫波みらい研究所」



どの活動も、楽しみながら取り組んでいて
すてきだにや

昔の着物に新しい命をふきこむ
環境講座「着物リメイク講座」も人気です。ファッショントリトリーも行
われています

地元の自然の素材を生かした、郷土食や伝統食づくりに親子で挑戦する親子調理体験教室も開催しています

小学生と保護者を対象にした環境探検隊事業では、川遊びや自然体験を通じて、紫波の自然の豊かさを伝えます

紫波みらい
研究所の主な
活動だよ

「循環型まちづくり
視察の様子」

全国に誇る！
豊かな自然＆
環境の取り組み

國學院大学の学生が参加する
間伐体験「里山づくりプロジェクト」

紫波の豊かな自然や、環境を大切にする取り組みは、全国からも注目されています。「循環型まちづくり」の視察や、國學院大学の学生が毎年参加している「間伐体験」も受け入れています。百年先まで紫波の豊かな自然を受け継いでいきたいです

女性も
いますよ！

町内外の人からの
人気が高いのが、
山仕事初級教室。
チエーンソーでの作業
や伐採の基本を学び、
山を守ります。

NPO法人紫波みらい研究所
■住所 紫波町紫波中央駅前1-2-2
■電話 ☎671-2244

(近日開催予定のイベント)

湖と森のふれあい研修
■日程 9月29日(日)
■内容 山王海ダム見学、平成の森で植林などの体験。親子や一般の方々も参加できます。ダムカード、昼食(ダムカレー)付き。詳しくは問い合わせください。

参加
無料

事務局では、家庭の生ごみを肥料にできる「ダンボールコンポスト」(1個800円)の販売や、廃食用油の回収も行っています。

町の未来を
守っていこう！

あざりん
東根山で暮らす、ねこの子ども。紫波の自然と環境を守るためになら「ねこの手を貸す」よ！紫波のくだものが大好物！